



東海中新聞

NO. 380
令和5年2月号

「S: スタンド、自立、N: ノヴァ、新しい自分、O: 思いやり、W: 笑う
MAN: SNOWの頭文字のような人になろう」楽しいスキー学習になりました。

食事で残して

いいものは？

校長 今枝 武司

食しか食べないというのは、脂肪をため込んで体を大きくしようとしているのかもしれない。

朝ごはんを食べずに学校に来て、やる気が出なくてボーっとした経験ありませんか？実は、寝ている間も

脳は活動しています。そのため、朝起きたときにはエネルギーが不足している状態です。朝ごはんを抜いて

しまうと、活動に必要なエネルギーが不足してしまいます。そのため、

ボーっとしたり、イライラしたりします。朝ごはんを食べることで、脳が活性化し集中力が高まり、午前中

から活動的に過ごすことができます！栄養素をきちんと取ることは大切

ですが、それよりもきちんと食べる

ことの方が大切だと思います。たとえば、お茶わん一杯のご飯でも、パン

一切れでもいいので、朝ごはんを食べてほしいと思います。

栄養教諭の働きかけにより、給食の残菜の量が格段に減りました。次

は朝ごはんです。朝ごはんを自分で作ってみるとありがたさがわかって

いいと思います。週に一回でもいいので作ってみてはどうでしょうか。

出されたものは残さず食べる。食事で残していいものは、感謝の気持ち

だけだと思います。

みなさんは毎朝、朝ごはんを食べていますか？「朝はギリギリまで寝たい」「忙しくて朝ごはんを食べる時間がない」など、さまざまな理由から食べない人もいるのではないのでしょうか。今年度三年生が四月に行った「全国学力・学習調査」の質問「朝食を毎日食べていますか」に対し、本校三年生の十二・一％の人が「あまり食べていない」「全く食べていない」と答えています。これは全国平均の八・一％を上回っています。

なぜ、朝ごはんを抜いてはいけないのでしょうか。私も一回の食事を抜けば単純に摂取量が減り、ダイエットにつながると思う時期がありました。でも、それは間違いでした。朝ごはんを抜いて、空腹状態でお昼ごはんを食べると、血糖値が急上昇します。血糖値を下げようとインスリンが過剰に分泌されます。インスリンは糖を脂肪としてため込もうとする働きがあるので、体脂肪が増加し肥満になる可能性があります。お相撲さんの多くが二

生徒 学校教育診断票結果

A：よくあてはまる B：ややあてはまる
 C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない
 ■■■■■ A+B ■■■■■ C+D
 前年比は四捨五入で 4 % 以上になるものを掲載。

No	診 断 内 容	前年比		
1	学校へ行くことが楽しい。	+4.7	94.0	6.0
2	私たちの学校は、あいさつや返事がしっかりできる。		94.0	6.0
3	学校の行事に積極的に参加している。		94.5	5.5
4	生徒会活動(生徒会レク,ランニングタイム,ベットボトル,キャップ・アルミ缶回収,ボランティア清掃など(あいさつ団,D-1グラプリ~R1))に、積極的に参加している。		80.5	19.5
5	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	+5.6	83.7	16.3
6	授業や行事などの中で、外部の講師の方から学ぶことができる機会がある。(防災教育,学区オリエンテリング,仕事人講座,スーパーサイエンススクールなど(教育講演会,職場体験学習~R1))		87.5	12.5
7	授業では、課題を追究する学習が多くあり、積極的に取り組んでいる。		90.0	10.0
8	授業では、進んで自分の意見や感想などを言うことができる。(発表している。~R1)	+9.0	74.9	25.1
9	授業では、友達の意見や感想をよく聞くようにしている。		97.0	0.0
10	授業の中で、友達に教えてもらったり、教えたりしている。		96.2	3.8
11	授業の中で自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。(R1~) 授業は分かりやすく楽しい。(~H30)	+4.7	85.2	14.8
12	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。		80.5	19.5
13	授業でできるようになったことが多い。	+4.3	88.5	11.5
14	タブレットを活用して考えたり、意見などをまとめたり、発表したりしている。	+7.0	88.0	12.0
15	総合的な学習の時間(岡特交流,防災教育,環境学習等(職場体験~R1))では、自らの課題を体験活動などを通して学んでいる。	+4.4	84.0	16.0
16	道徳の時間などを通して、命の大切さを学ぶことができる。		90.5	9.5
17	部活動は楽しく、積極的に取り組んでいる。(取り組んだ)		90.4	9.6
18	学級生活をよりよくするために、話し合ったり協力したりして解決できる。(R2~) 学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。(~R1)		88.7	11.3
19	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。		92.2	7.8
20	周りの人が困ったり悩んだりしたとき、相談に乗ったり助けたりしている。		90.7	9.3
21	学級の係活動などに責任をもち、積極的に取り組んでいる。	+5.0	95.5	4.5
22	通知表は、自分の学習や生活の様子・努力をよく表している。(R2~) 通知表は、自分の学習や生活の努力をよく表している。(~R1)		91.5	8.5
23	学級・部活動・地域などにおいて、周りの人の役に立つような行動をしている。(R2~) 人の役に立つような行動をしている。(学級・部活動・地域などにおいて(~R1))	+4.8	87.0	13.0
24	自分には、よいところがあると思う。	+4.5	80.7	19.3
25	私たちの話をよく聞いてくれる先生がいる。(R2~) 私たちの意見をよく聞いてくれる先生がいる。(~R1)	+6.4	94.5	5.5
26	先生たちは、明るく活動的である。		96.7	3.3
27	困ったり、悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。		82.0	18.0
28	先生は、いじめや問題行動に真剣に対応してくれている。		93.5	6.5

< 1 学校が楽しい 24 自分にはよいところがある >

「1.学校へ行くことが楽しい」と答えた生徒が昨年度に続き、4.7%増えたこと、「24自分にはよいところがある」と答えた生徒が4.5%に増えたことが一番うれしいことです。学年・学級でそれぞれ工夫し、居場所づくり、絆づくりに努めた教員の努力の表れだと思います。今後も、温かい学校づくりに努めます。

< 全体を通して >

「よくあてはまる」「あてはまる」の合計回答率が前年度比で増加したのは 26 項目でした。学習・部活動・行事等を一層充実させ、生徒を見守っていけるよう改善していきたいと思ひます。

< 8・11・13 授業について >

項目 8 は 74.9% の回答率ですが、昨年度唯一合計回答率が 70% 以下でした。さらに項目 9, 10 についてはチーム学習に課題はあるものの、一つの成果だと思ひます。「13 授業でできるようになったことが多い」と答えた生徒も 4.3% 増えたことから、授業研究の確かさを表すものと思ひます。「できるようになったことが多くない」と答えた 11.5% の生徒にもわかる授業を目指し授業改革に取り組みます。

保護者 学校教育診断票結果

A:よくあてはまる B:ややあてはまる
 C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない
 ■■■■■ A+B ■■■■■ C+D
 前年比は四捨五入で4%以上になるものを掲載。

No	診断内容	前年比		
1	学校は、教育目標・教育方針を分かりやすく知らせている。		83.0	17.0
2	学校は、保護者・地域の要望や願いに応えようと努力している。	-4.6	83.0	17.0
3	学校は、教育活動に関する情報を積極的に伝えている。	-4.6	81.2	18.8
4	学校は特色ある教育活動を展開している。		79.0	21.0
5	学校から出される通知表の評価は、納得のいくものになっている。		86.0	14.0
6	学校は、子供の学びを深めるために授業を工夫している。		72.9	27.1
7	学校は、読書を重視し、豊かな心を育もうとしている。	-4.9	72.1	27.9
8	学校は、生命を大切に作る心を育てている。		77.1	22.9
9	学校は、規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている。		87.4	12.6
10	学校は環境教育に力を入れている。	-4.4	74.9	25.1
11	学校は、ボランティア教育(学区清掃等(東部地域福祉センター訪問～R1))に力を入れている。		79.4	20.6
12	学校は、防災教育に力を入れている。(R1～) 学校は、地震や風水害の場合の対応について子供や保護者に分かりやすく伝えている。(～H30)		69.5	30.5
13	学校は、設備や掲示物、緑化など環境整備に努めている。		81.1	18.9
14	学校は、学校新聞や学年通信等(校長室だより～R1)を通して学校の様子がよく分かるようにしている。		90.0	10.0
15	学校は、授業参観の機会を増やすことにより、学校の様子がよく分かるようにしている。	-6.6	76.6	23.4
16	学校は、保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けるよう努めている。(R2～) 学校は、保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けている。(～R1)		69.6	30.4
17	学校では、PTA活動が(活発で～R1)充実している。		81.1	18.9
18	学校の教育活動に、保護者や地域の人たちがボランティアとして積極的に参加している。		74.1	25.9
19	校長は、学校経営についてリーダーシップをよく発揮している。	-7.2	78.2	21.8
20	先生は、一人一人にきめ細やかな指導を工夫している。	-5.5	71.1	28.9
21	先生は、総合的な学習(岡特交流、防災教育、環境学習等(職場体験～R1))の内容を分かりやすく知らせてくれている。		71.6	28.4
22	先生は、子供の能力や意欲を適切に判断し、認めてくれている。		82.2	17.8
23	先生は、子供のまちがった行動を適切に指導してくれる。		81.9	18.1
24	先生は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる。	-6.7	76.8	23.2
25	先生は、さまざまな教育活動を通して、子供たちに豊かな心を育てようとしている。(R1～) 先生は、道徳を重視し、豊かな心を育てようとしている。(～H30)		83.9	16.1
26	先生は、子供の気持ちをよく理解し、人権を尊重していてくれる。	-5.3	79.1	20.9
27	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。		82.2	17.8
28	子供は、授業でできるようになったことが多いと言っている。(R2～) 子供は、授業が分かりやすいと言っている。(～R1)	-4.2	57.5	42.5
29	子供のことについて、気軽に先生に相談できる。		70.9	29.1
30	子供は、学校に信頼できる友達がいると言っている。		91.7	8.3
31	子供は、体育大会や文化祭などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。		91.6	8.4
32	子供は、部活動に積極的に参加している。(参加した)		90.8	9.2

<19, 20, 24, 26 教員への信頼>

保護者の方々から信頼を得られなかったことは、真摯に受け止め改善していかなくてはならないと痛感しています。保護者の方々の願いに応えられるよう、一人一人に寄り添い、日頃の継続的で丁寧な取組を大切にして、安心を提供し、信頼を得られるよう努力していきます。

<全体を通して>

生徒アンケート項目13では、昨年度より+4.3%増の88.5%の生徒が「授業でできるようになったことが多い」と答えているものの、保護者の方々の項目28は57.5%でした。また、自由記述から特にチーム学習について『理解できない子が埋もれていく授業では困る』『他の中学校と学力差が出るのでやめてもらいたい』などの意見もいただきました。今後はチーム学習がよりよくなるように改善し、生徒にとって有意義な授業になるよう努めていきます。また、学校での生徒の様子や教育活動の様子を今まで以上に発信し、コンスタントに保護者の方々と連携を取ることを再認識しました。

2年生スキー学習

成長

二年二組

スキー学習を通して、自分たちの成長を感じることができました。例えば、スキー学習一日目の僕たちは、先生が前に立たれても「静かに」と言わないと静かにできませんでした。しかし、二日目、三日目と日を重ねていくうちに気付ける人が増え、最終的には自分で考え、静かにすることができるようになっていました。

スキー学習が終わった次の登校日、朝の読書の時間に全員が着席できるクラスに変化していました。できるようになったのは、スキー学習での団体行動から学んだことが大きかったです。式が、立志の式での意識の変化があったのだと感じました。式の中で、それぞれが将来に向けて幸せを願い、自分たちがどうなりたいかを想像し、そのためにどうするべきかを考え誓いました。

この誓いが自分たちの行動を変えたのだと感じました。とても充実し、成長できたスキー学習でした。



「SNOW MAN」

二年四組

私は人生で初めてのスキーでした。スキー学習では、インストラクターさんに滑り方や止まり方を教えてもらいました。初めてのスキーだったので、転んでしまうこともあったけど、最後には転ぶ回数も減り、楽しく滑ることができました。スキー学習だけでなく、立志の式という大人への第一歩を踏み出す分と今後の人生を改めて深く考えることもできました。他にも親へのありがたみ、友達の大切さ、周りの人の存在がどれだけ重要かを知ることができました。普段の生活でも立志の式で行ったことや、周りの人への感謝を忘れずに生活していきたいです。また、実行委員として、自分や学年が何をすべきか考えて行動できたこともスキー学習を終えた今、自分自身が成長できたところだと思っています。



スキーはチームスポーツ

二年一組

スキー学習二日目の朝、雪山を滑ることに慣れてきた私は、同じランクダがレベルが高めのL班に入るようになった。L班では転ぶ人は少なくはないが、みんなとても上手だった。チームに慣れない中で私も二回ほど転んでしまった。だが、そんな時は仲間が優しく「大丈夫？」と声をかけてくれた。滑っている時も、「頑張れ！」と応援してくれた。そんな環境のおかげか、私も遠慮せず挑戦し、転ぶことができた。スキーは個人スポーツだと思われがちだが、その下には仲間や家族という土台がある。もちろん、最初は全くできなかったターンを覚えたことや、なめらかに滑れるようになったことなど技術的な成長もあった。でも、それだけではなく、「仲間と支え合い、励まし合いながら生きていく」、「家族がいて自分がある」ということも学べた。楽しく最高のスキー学習だったと私は思う。



立志の式を通して

二年三組

私はスキー学習を通して仲間の大切さや支えてくれる周りの人への感謝の気持ちを学びました。

立志の式では、多くの人に支えられて生きていることを感じ、これからの生き方の志を立てました。どのような式にしたいのかを実行委員で案を出し合って考え、式の準備期間はとても楽しかったです。

立志の式本番は、落ち着いた雰囲気の中で、学年全員が真剣にそれぞれ志を声に出して誓い、とても感動する良い式になったと思います。

今回のスキー学習で学んだことやできるようになったことをこれから生活に生かして、たくさん成長できるように頑張りたいです。

